



東京のまちづくり活動トピックス

会えない中でも「情報交流シート」を通じて、コロナの影響で感じている“不安や困りごと”“苦慮していることや工夫していること”などを共有しました。

コロナ禍の中で大変な思いをされている生協組合員や事業、まちづくり活動とつながりのある団体に、自粛が始まった3月から5月の様子の聞き取りを行いました。お互いの困りごとを知ることで、自宅にいてもできることで助け合いが始まったり、事業でも工夫をしたりしている様子が共有できました。

不安…困った… 寂しい…

- ・組合員活動ができない。
- ・感染するんじゃないか心配。
- ・マスクや消毒液が買えない。
- ・頼んだはずの商品が欠品で届かない。
- ・学校がお休みで勉強が遅れないか不安。
- ・集まることが出来ないストレス。
- ・外出自粛による体力低下、孤独感。
- ・他県に暮らす親元へ帰れない。
- ・病院に行くのが怖い。



地域生協も、医療生協も 苦慮しながら大奮闘

- ・流通量の限界値や生産・出荷元の機能低下。
- ・商品注文が急激に増加して対応ができない。
- ・商品はあるのに、物流機材(ドライ箱や冷蔵、冷凍をセットする大きなケース)が足りない。
- ・暑い中の配達員のマスクでの作業。
- ・コロナ対策として防護服やマスク、消毒薬などの衛生用品の不足。
- ・患者減による経営危機と院内感染の不安。



組合員

事業

他団体

コロナに
負けずに!

困りごとは 協同のチカラで助け合い!

- ・Zoomなどを活用し、オンラインで交流した。
- ・機関紙の簡易版で現状をお知らせした。
- ・体操DVDの配布、動画をHPで紹介した。
- ・大学生協を通じ、学生アルバイトの応援や、内部勤務職員による応援を頼んだ。
- ・自宅で手作りした防護服やフェイスシールド、マスクを届けた。
- ・パントリーを始めた団体に食材提供を行った。

動けないもどかしさ 忙しくて手が足りない

- ・感染防止のために子ども食堂は休止に!
- ・サロン活動も自粛。
- ・自粛が解除された後のサロンの再開方法は、どうすればいいのかわからない、今から悩ましい。
- ・福祉資金の貸し付け申し込みへの対応で大忙し。
- ・区内在住外国人の貸し付けの申し込みが急増して大変。



《東京のまちづくり活動》 荒川区まちづくり・北区まちづくり・足立区まちづくり・品川区まちづくり・目黒区まちづくり・杉並区まちづくり・練馬区まちづくり・東久留米市まちづくり・生協のまちづくり☆八王子

品川区まちづくり

わたしたちも取り組みたい!
メンバー有志が自主的に「簡易防護服づくり」



まちづくり活動は医療生協のある地域から取り組みをすすめています。「まちづくり活動トピックスVOL.1」で紹介した「簡易防護服・エプロン作成」の記事を目にしたメンバーの一人から、ともに活動している城南保健生協に提供するために自分たちも取り組みたいと提案がありました。メールで他メンバーにも声掛けをして、有志が自主的に100枚作製して城南保健生協へお届けしました。

《品川区まちづくり 構成メンバー》

コープみらい、パルシステム東京、東都生協、生活クラブ生協、東京南部生協、城南保健生協、東京都生協連